

エピローグ
新たなる旅へ





教祖さまを中心に
信者一同は
会の設立に向けて
あわただしい日々を
送っていた



この大提灯は
どこに取りつけ
ましょう？

杉山先生
どこが
いいですか？



拝復

心温まるご書面に

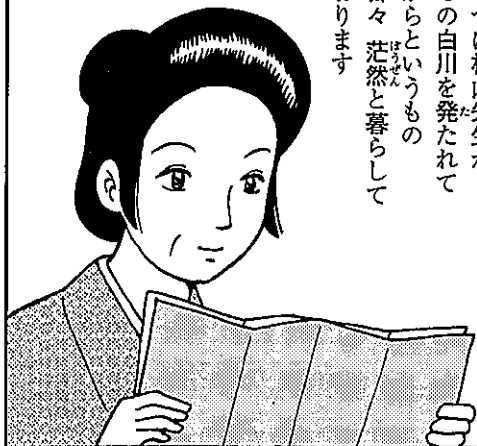
深く感謝

申しあげます

あのような強情を
はったわたしに

重ねてのお誘いは
身にあまる光栄と
存じます

じつは杉山先生が
この白川を発たれて
からというもの
日々 茫然と暮らして
おります



杉山先生
あつての
自分だと
改めて
知りました

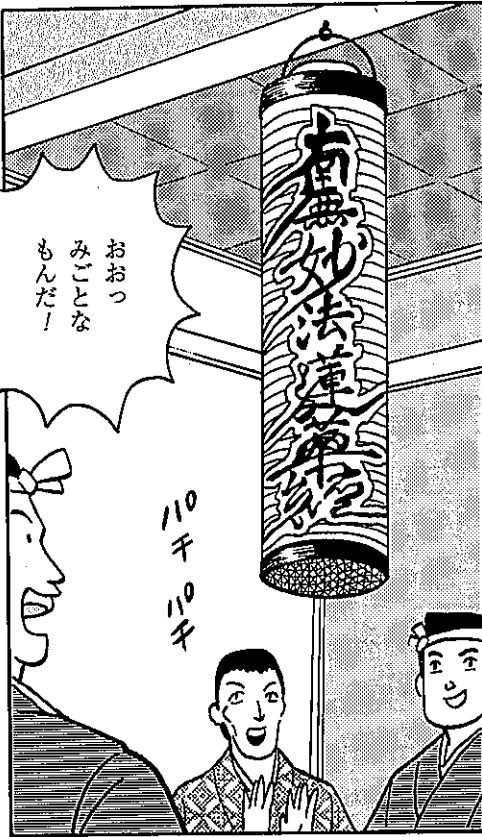
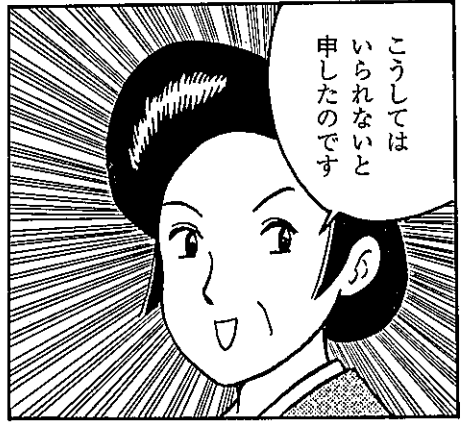


わたしったら
なにをのんびり
していたのかしら

エカキッ

えっ？



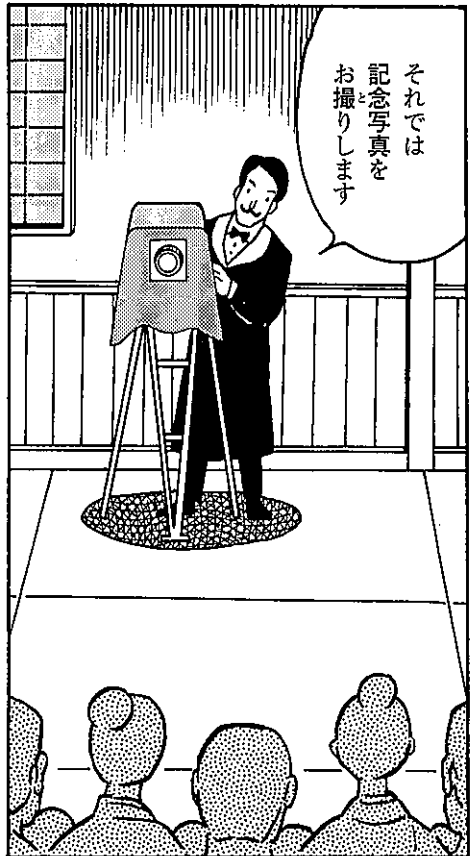


大正三年
(一九一四)
晩秋
杉山辰子を
中心とする

「仏教感化救済会」
が発足した

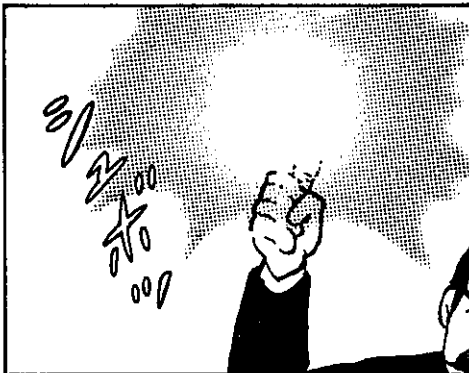
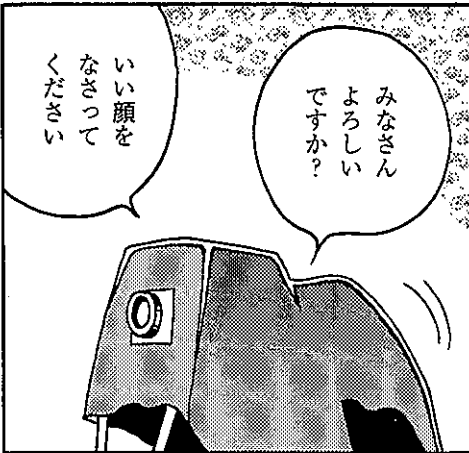


それでは
記念写真を
お撮りします



みなさん
よろしい
ですか？

いい顔を
なさって
ください





今日の
大乘教
教団の



発展の
まさに
スタートで
あった